

CRAFT5 VER.6

バージョンアップ機能説明書

この冊子は CRAFT5 Ver.6 で新たに追加された機能の解説書です。

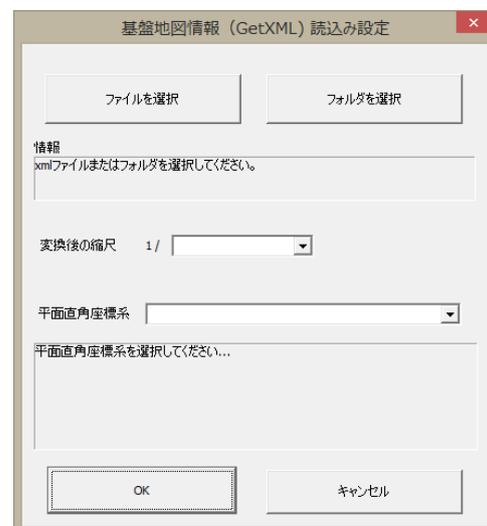
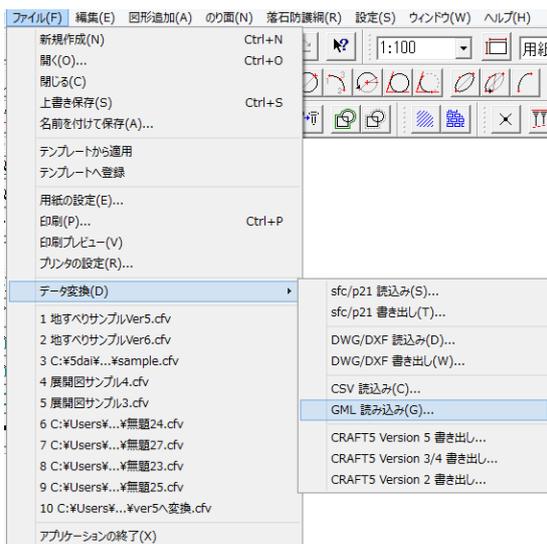
操作上の大きな変更点について記載しています。

GML 読み込み機能

国土地理院から公開されている基盤地図情報 xml ファイル (GML) を読み込み、地形図として利用することができます。

GML ファイルはインターネットブラウザを使って国土地理院基盤地図サイトにログインすることでダウンロードができます。または、弊社の製品「Godai MapReader」を利用すると、非常に簡単な操作でファイルのダウンロードができます。

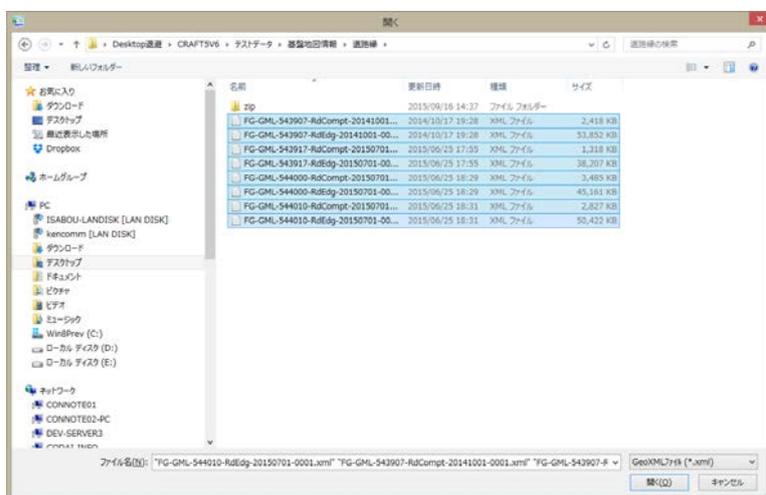
GML ファイルを読み込むには、[ファイル]-[データ互換]-[GML 読み込み]メニューを選択します。



GMLは道路、建物、水路などがそれぞれ別ファイルになっています。これらを一度に読み込む方法として下記の2通りあります。

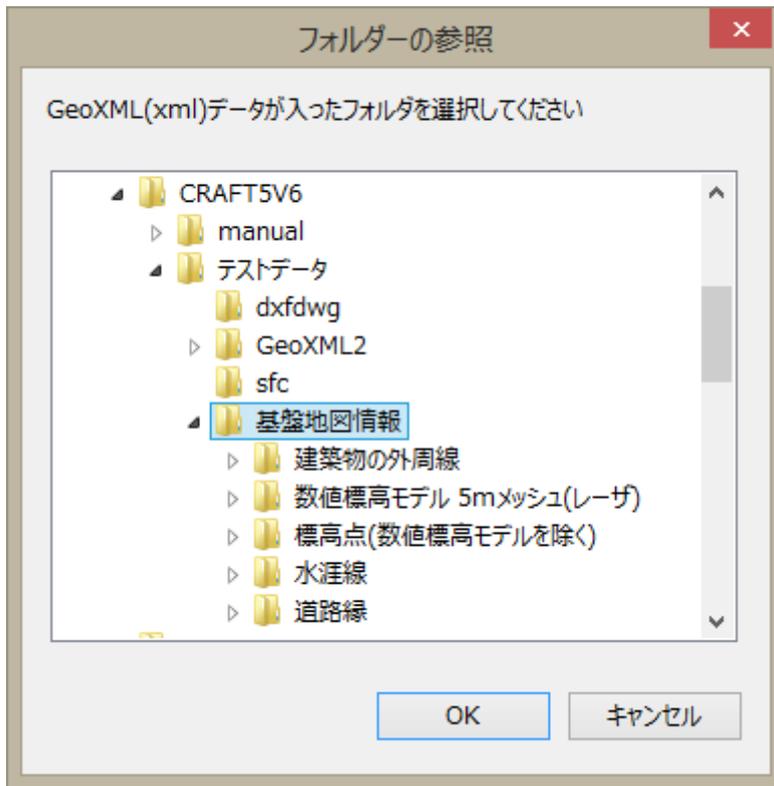
- ・「ファイルを選択」ボタンを押して、複数のファイルを選択する。

この場合、「開く」ダイアログでShiftまたはCtrlキーを押しながらファイル名を選択することにより複数ファイルが選べます。



- ・「フォルダを選択」ボタンをクリックして、ファイル保存先のフォルダを指定する。

この場合、ファイルが保存されているフォルダを下記のダイアログで選択してください。



次に、変換後の縮尺と平面直角座標系を選択して **OK** を押すと、読み込みが開始されます。

このとき、現在アクティブなレイヤから以降のレイヤに1ファイルにつき1レイヤを使用します。読み込み後に、レイヤ単位で色を変えたい場合は、各レイヤの基本線種を変更してください。

領域外削除機能

領域外削除機能を使うと、指定した多角形領域の外側にある全ての図形を消去します。例えば大きな地形図の一部だけを切り取る場合に使用します。

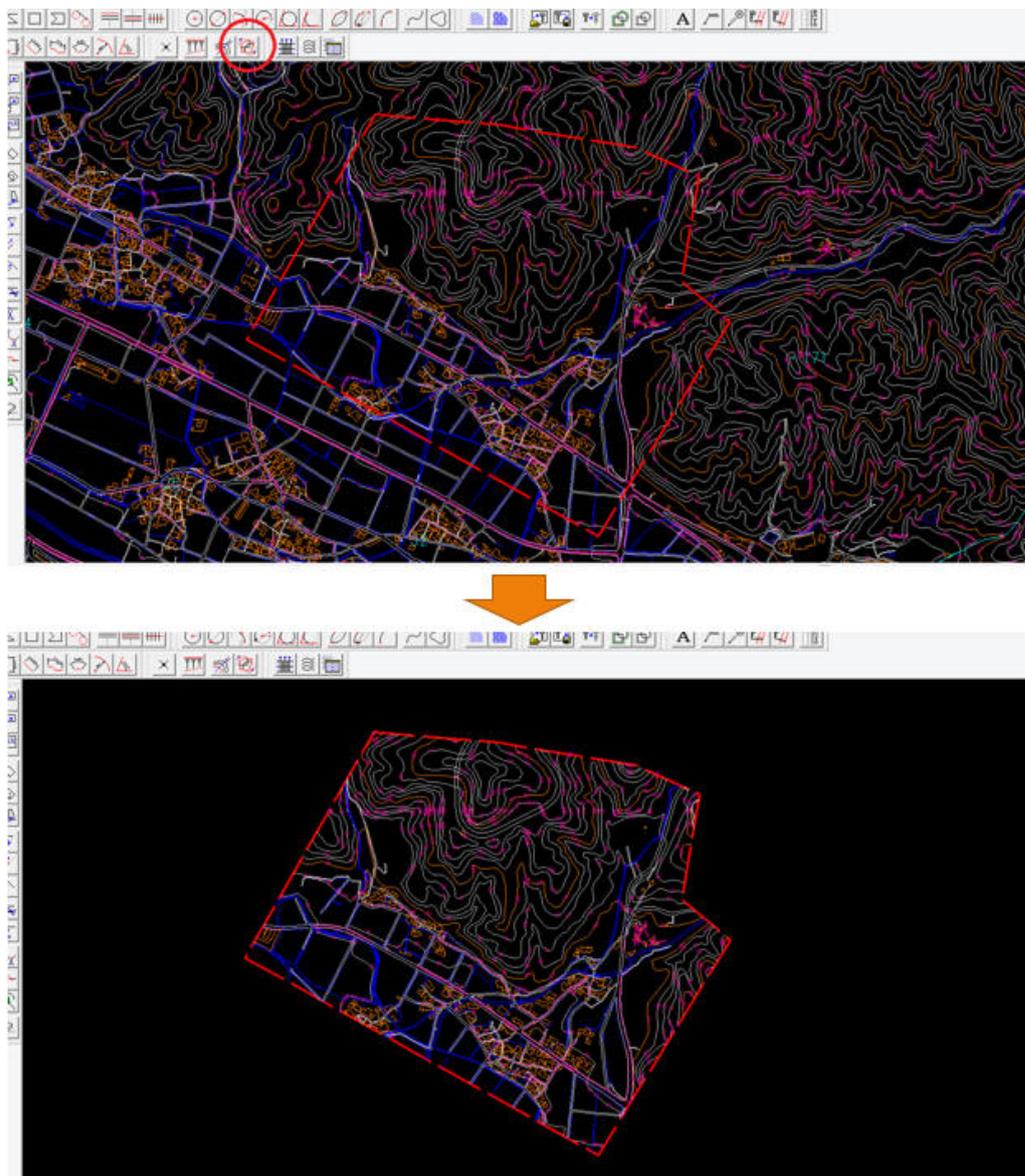
操作手順

1. 切り取りたい図形のレイヤのみを表示させます。

2. [領域外削除]アイコンを選択します。

3. 切り取る領域を示す多角形をクリックし、右ボタンメニューの確定を選択します。

この多角形は複数選択でき、見た目が多角形であれば単独線の組み合わせも可です。



新しくなったレイヤー画面

下記のアイコンをクリックするとレイヤ使用状況画面が表示されます。



Ver.6 から、この画面を表示中にメイン画面を操作することができるようになりました。これにより編集コマンドを実行中にレイヤ表示・編集可スイッチを切り替えたり、基本線種の選択が可能です。

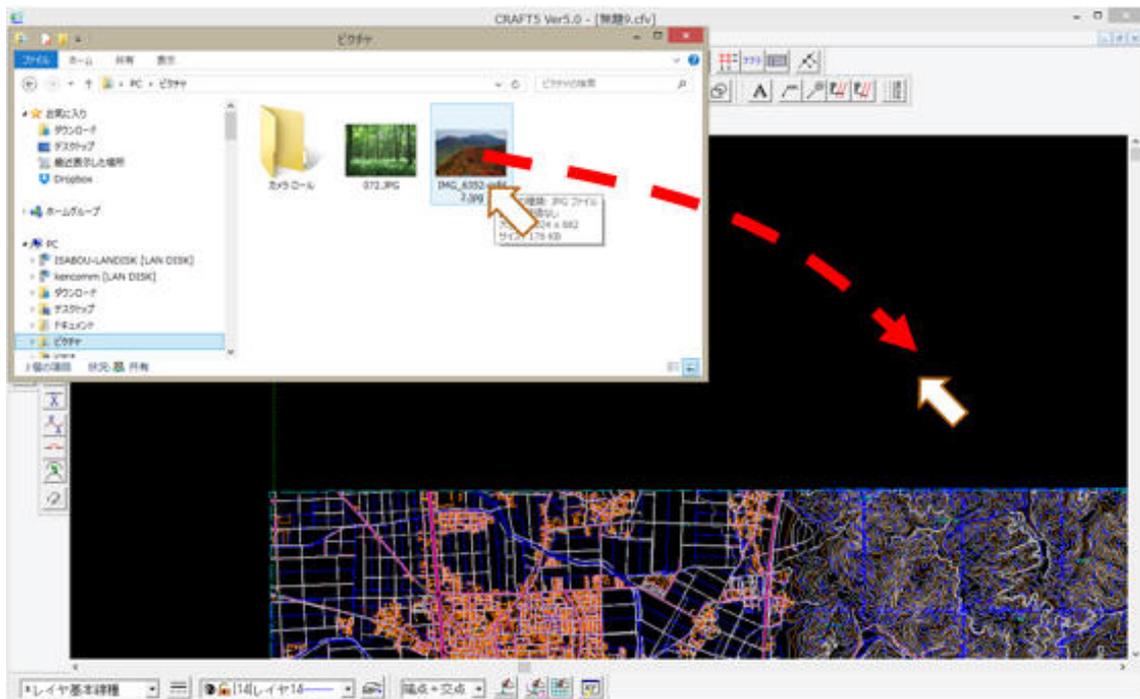
画面の大きさはマウスを使って変更できます。



画像ファイルのダイレクト挿入

Windows エクスプローラから画像を選択して、CRAFT5 図面上でドロップすると画像が挿入できます。挿入した画像は一般図形と同じようにリサイズや移動、レイヤー表示非表示が可能です。

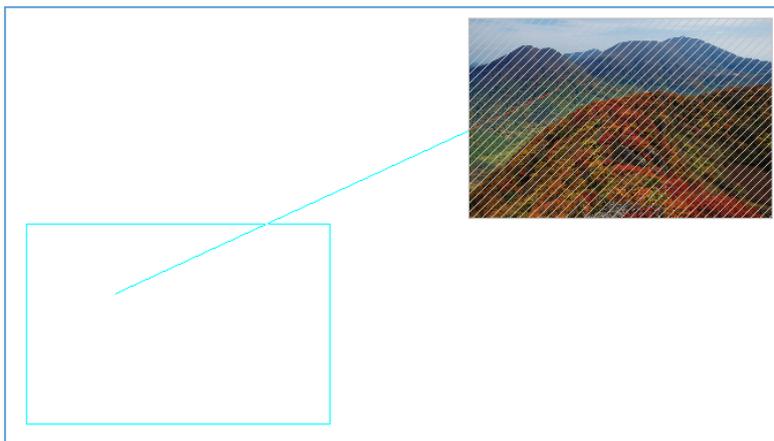
対応する画像データは、JPEG / BMP / PNG / TIFF 形式です。



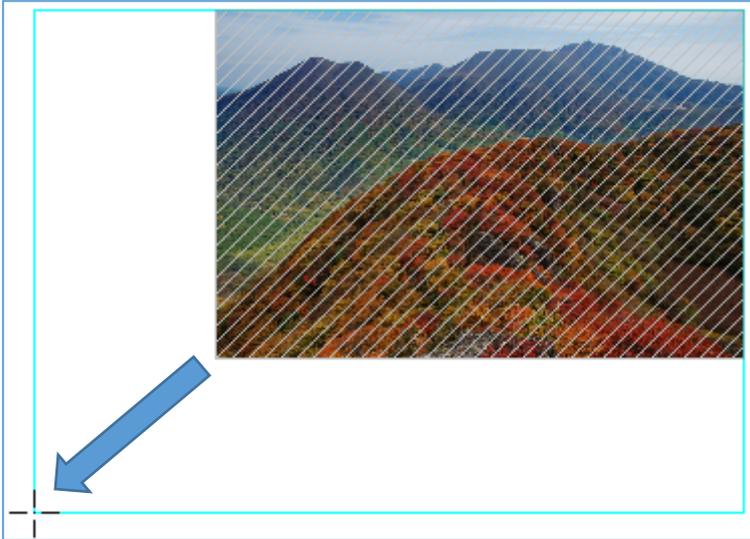
挿入した画像の位置を移動するには、「移動コマンド」を使います。画像の大きさを変更するには、「端点移動コマンド」を使って四角形の角の点を移動させます。（回転には対応していません）



移動コマンドで移動できます



移動コマンドでサイズ変更できます



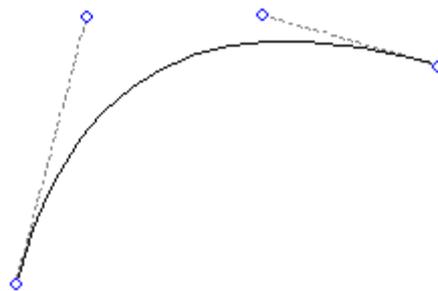
3 次ベジエ曲線

Ver.6 で追加された要素にベジエ曲線があります。ベジエ曲線は 3 点または 4 点の制御点による連続した曲線です。従来の 3 次スプライン曲線では制御点全てを通過しますが、ベジエ曲線では制御点 4 点のうち中間 2 点を通りません。(中間 2 点により方向と曲率が定まります)

SXF ファイルにおけるスプラインはベジエ曲線に該当します。



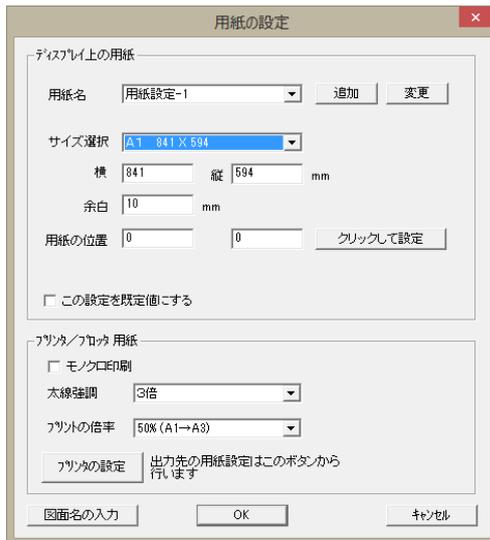
: ベジエ曲線 コマンド



マルチ用紙設定

同一ファイル内で複数の用紙を設定できます。

工区ごと、工種ごとに設定したり、ページとして利用するなどの使い方ができます。

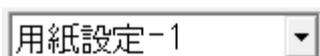


新規のファイルには、用紙が1枚用意されています。

用紙を追加するには、[追加]ボタンをクリックします。そして用紙サイズと用紙原点を設定してください。[クリックして設定]ボタンを押すと、マウスクリックで用紙原点を設定することができます。

印刷と印刷プレビューの対象は、ツールバーで選択されている、現在アクティブな用紙です。

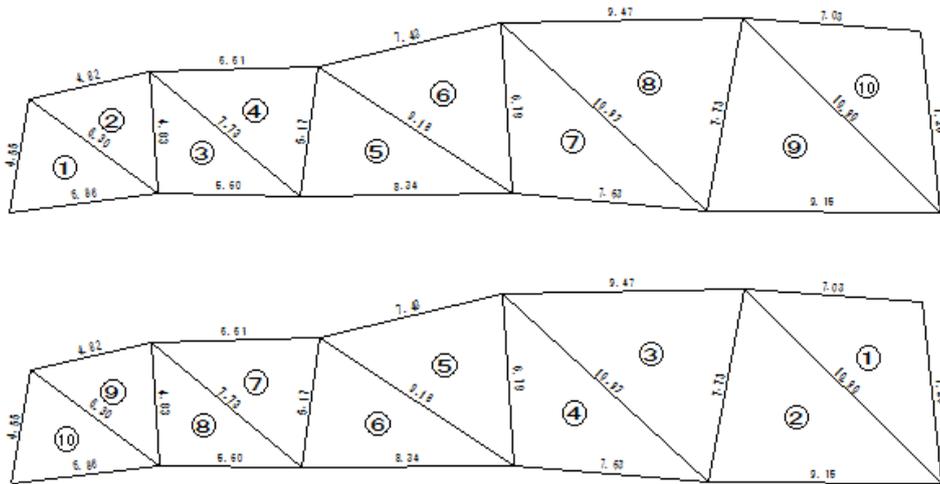
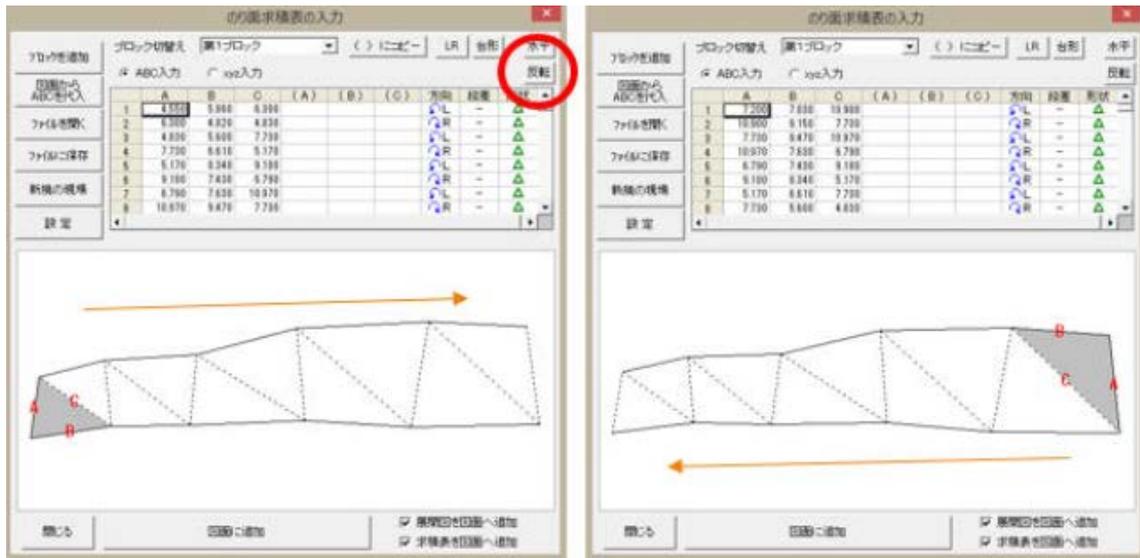
拡大解除したときに画面表示されるエリアも同様です。



のり面求積図の左右反転ボタン

のり面求積図入力画面では、三角形を左から右方向に入力することを想定しています。

「反転」ボタンをクリックすると、三角形番号が入れ替わり逆方向に切り替わります。

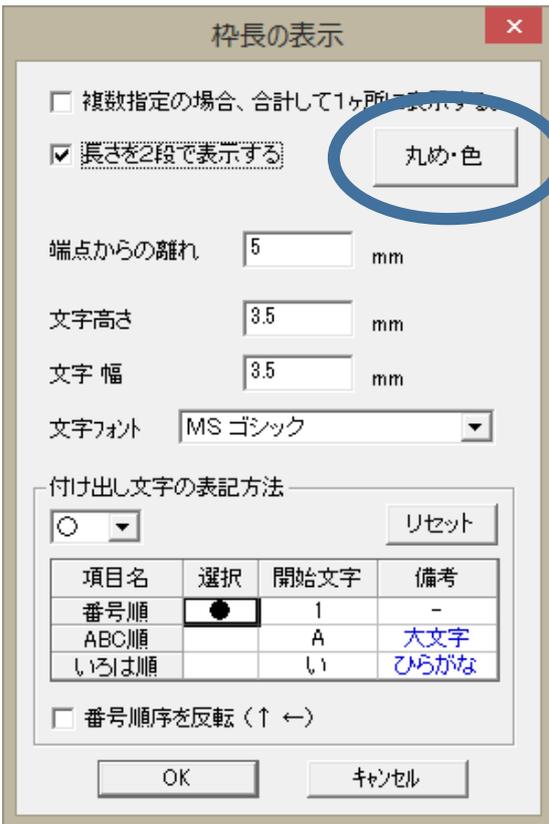


番号を反転した例

のり枠長の朱書き色設定

のり枠長の表示機能について、カッコ書きの朱書き表示を行う設定を下記のように行えます。

 : のり枠長の表示 コマンド



のり枠長の表示

複数指定の場合、合計して1ヶ所に表示する

長さを2段で表示する

丸め・色

端点からの離れ mm

文字高さ mm

文字幅 mm

文字フォント

付け出し文字の表記方法

項目名	選択	開始文字	備考
番号順	<input checked="" type="radio"/>	1	-
ABC順	<input type="radio"/>	A	大文字
いろは順	<input type="radio"/>	い	ひらがな

番号順序を反転(↑ ←)



丸めの設定

のり枠長 (のり枠長)

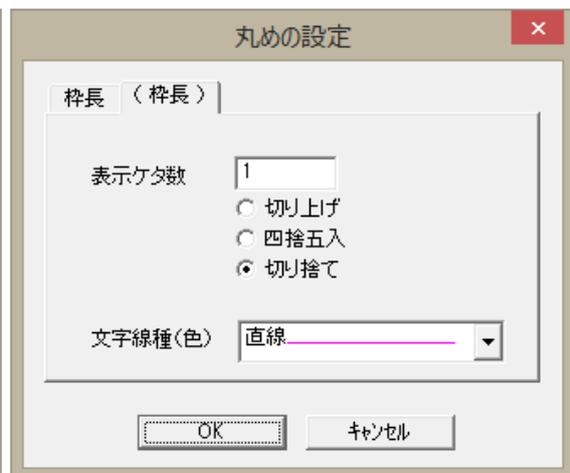
表示ケタ数

切り上げ

四捨五入

切り捨て

文字線種(色)



丸めの設定

のり枠長 (のり枠長)

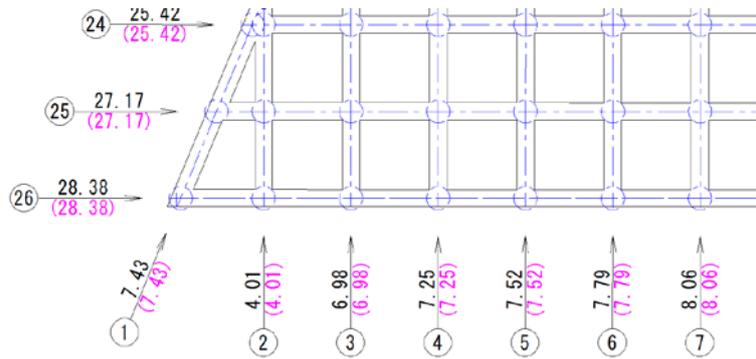
表示ケタ数

切り上げ

四捨五入

切り捨て

文字線種(色)



表示例

図面に追加された後でカッコ書きの線種を変更するには、寸法図形を選択してプロパティ-引出タブの「色・線種」の箇所をダブルクリックしてください。

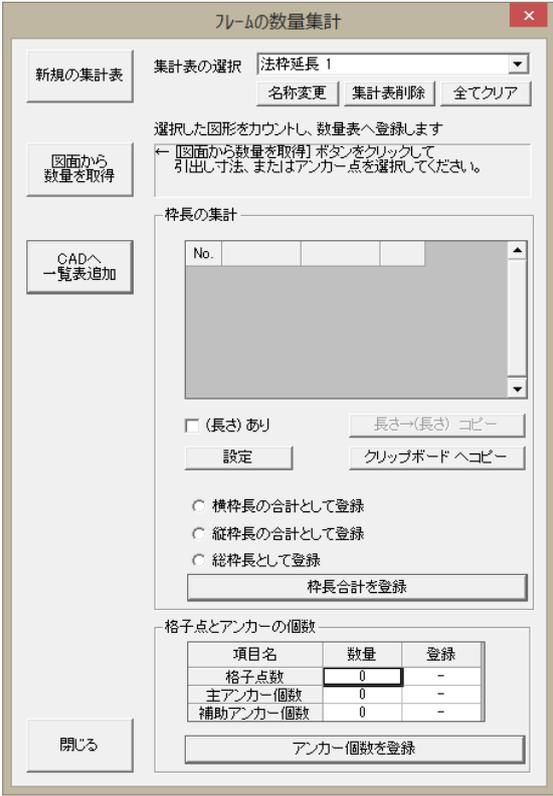


のり枠長一覧表の保存と修正

のり枠の数量設定コマンドでは、図上の法枠寸法から数量の拾い出しを行います。Ver.6では、拾い出した数量データが図面ファイル内(.cfv)に埋め込まれ、保存されるようになりました。

のり枠の数量設定コマンドを実行すると下記のダイアログが表示されます。

 : のり枠の数量設定 コマンド



のり枠の数量集計

新規の集計表

集計表の選択 [法枠延長 1]

名称変更 集計表削除 全てクリア

選択した図形をカウントし、数量表へ登録します

図面から数量を取得

CADへ一覧表追加

枠長の集計

No.		

(長さ) あり

長さ→(長さ) コピー

設定 クリップボードへコピー

横枠長の合計として登録

縦枠長の合計として登録

総枠長として登録

枠長合計を登録

格子点とアンカーの個数

項目名	数量	登録
格子点数	0	-
主アンカー個数	0	-
補助アンカー個数	0	-

アンカー個数を登録

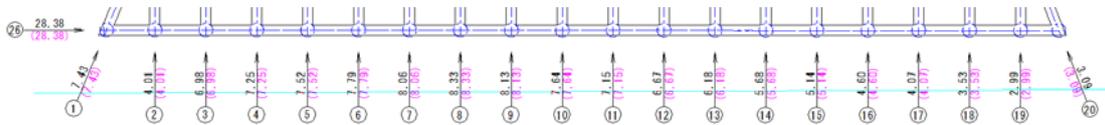
閉じる

一覧表データは、最初は1つ用意されています。表データを2つ以上登録する場合は、[新規の集計表]ボタンから追加できます。

[図面から数量を取得]ボタンをクリックします。

図面上の引出し寸法図形を選択して、確定すると枠長の集計欄に数量が設定されます。

引出し寸法図形を選択には「串刺しモード」が便利です。



フレームの数量集計

新規の集計表 集計表の選択 法枠延長 1
名称変更 集計表削除 全てクリア

図面から数量を取得
選択した図形をカウントし、数量表へ登録します
20個の引出し寸法が選択されました。

CADへ一覧表追加

枠長の集計 合計 20ヶ所、長さ 122.24 m

No.	番号文字	長さ	(長さ)	登録
1	1	7.43	(7.43)	●
2	2	4.01	(4.01)	●
3	3	6.98	(6.98)	●
4	4	7.25	(7.25)	●
5	5	7.52	(7.52)	●
6	6	7.79	(7.79)	●
7	7	8.06	(8.06)	●

(長さ)あり 長さ→(長さ) コピー
設定 クリップボードへコピー

横枠長の合計として登録
 縦枠長の合計として登録
 総枠長として登録

枠長合計を登録

格子点とアンカーの個数

項目名	数量	登録
格子点数	0	-
主アンカー個数	0	-
補助アンカー個数	0	-

アンカー個数を登録

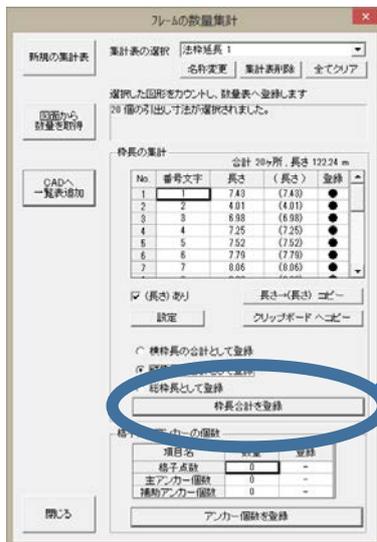
閉じる

縦枠。横枠を区別しない場合は、「総枠長として登録」ラジオボタンを選択状態にしてください。

枠長集計欄の数量を確認して、「CAD へ一覧表追加」ボタンをクリックすると、図上に枠長一覧表が追加されます。

縦枠 No.	縦枠長 (m)	(縦枠長) (m)
1	7.43	(7.43)
2	4.01	(4.01)
3	6.98	(6.98)
4	7.25	(7.25)
5	7.52	(7.52)
6	7.79	(7.79)
7	8.06	(8.06)
8	8.33	(8.33)
9	8.13	(8.13)
10	7.64	(7.64)
11	7.15	(7.15)
12	6.67	(6.67)
13	6.18	(6.18)
14	5.68	(5.68)
15	5.14	(5.14)
16	4.60	(4.60)
17	4.07	(4.07)
18	3.53	(3.53)
19	2.99	(2.99)
20	3.09	(3.09)
合計	122.24	(122.24)

[枠長合計を登録]ボタンを押すと、次に行う別コマンド「のり枠数量表」に合計値が代入されます。



のり枠数量表コマンド

